

ふるさと通信 Vol. 39

2014年4月



3月、温かい日射しが増えるにつれ急激に雪解けが進み、モノクロの世界が色彩を取り戻します。顔を出した田んぼには大陸に渡る前の白鳥達が餌を求めて飛来し、農道や土手には気付かぬうちにフキノトウやツクシが背を伸ばしています。里山の木々も芽を膨らませ、いたるところから生命の息づかいを感じるようになりました。雪国は春の訪れが遅く短い分、その急激な変化にはいつも驚かされます。そんな中、お湯で種粃の消毒を行い、今は芽出しの前の浸種という行程を行っています。いよいよ今年のお米作りがスタートしました！4月に入ればスジ播きや田んぼの準備も本格化します。なんだか冬眠していた僕の百姓魂もめらめらと燃えてきましたー。



シベリアに帰る前に最後の腹ごしらえ。元気に海を渡って来年またキレイな姿を見せてね！



冬水田んぼに来る白鷺。



3月10日はまだ雪景色。



優芽もちちょっとお手伝い。



朝日に輝くフキノトウ。



晴れた日には妙高山の勇壮な姿が。



60℃のお湯で種粃を消毒。

美希は小学校卒業、瞳は卒園！

今回のサービス品は、自家製の梅干しです。少量ですが、手作りならではの昔ながらの素朴な味をお楽しみ下さい。

2014年4月1日 金谷 武志

日々の農作業の様子や地域の情報は、下記フェイスブックページ“有機栽培米の金谷農場”で発信中です！

<https://www.facebook.com/kanayafarm.jp>

ホームページ : <http://www.kanaya-farm.jp/>

Eメール : info@kanaya-farm.jp